

令和6年度学島小学校評価アンケート【教職員】分析

15人中 15人回答 回答率 100% 20項目

肯定群「とてもそう思う」の割合が低い 4項目

問2	子どもは、自分の考えや意見を伝えることができている。	6.7%
問5	子どもは、体を鍛えることに積極的に取り組んでいる。	6.7%
問3	子どもは、生命を大切にし、自分も周りの人のことも大切にすることができている。	13.3%
問8	子どもには、交通事故や災害時に正しい判断や行動ができる力がある。	13.3%

【考察】

問2「子どもは、自分の考えや意見を伝えることができている。」 6.7%

自分の考えをもったりそれを伝えたりする思考力・判断力・表現力に保護者も教員も課題を感じており、児童自身も苦手意識をもっていることが分かる。

児童の伝える力（思考力・判断力・表現力等）をさらに育成していくために、授業では話し合いの機会を多く設定し対話をつなげたり、自分の考えを長い言葉で発言したりすることができるよう、さらに支援が必要であると考ええる。

問5「子どもは、体を鍛えることに積極的に取り組んでいる。」 6.7%

休み時間には多くの児童が外に出て遊んでいるが、いつも教室で過ごす児童の姿も見られる。今年度、体育委員会を中心に実施した「外で遊ぼうウィーク」により、児童の外で遊ぼうとする意識が高まったように感じる。できるようになった喜びや達成感を味わわせることで、運動することへのきっかけや意欲の向上につなげたい。今後も教育活動を通して、体力向上を目指して取り組んでいきたい。

問3「子どもは、生命を大切にし、自分も周りの人のことも大切にすることができている。」 13.3%

児童の学校生活の様子では、自分の意見を通そうとして相手を傷つける言動をとったり、外見や能力に関することで友達がいやがる発言をしたりする場面が見られることがある。友達のことを思いやり仲良くすることが大切であると理解はしていても、自分の思いを上手く伝えることができなかったり、行動に移したりすることが難しい場面もあると考えられる。教職員一人一人が、いじめは絶対に許さないという毅然とした態度で指導に当たり、児童同士が良好な人間関係を築けるようにしていきたい。

問8「子どもには、交通事故や災害時に正しい判断や行動ができる力がある。」 13.3%

問14「学校では、交通指導や災害時の安全行動の指導をしている」に「とてもそう思う」と回答した割合は73.3%であるのに対し、子どもが非常時に正しい行動を取れる力は、まだ十分ではないと考えていることがうかがわれる。南海トラフ地震や水害などの危険性は年々高まっていることを考えると、予期せぬ災害発生に向けて、避難訓練の回数を増やしたり、想定内容を変更するなどの工夫をしたりして、児童がどのような場面でも自分の身を守る行動が取れるような力を身に付けさせたい。